

事業のあらまし 2024



経営理念

私たちは、都営交通事業の一翼を担う法人として、
事業活動を通して、その使命達成に協力し、
首都東京の交通事業の健全な発展と公共の福祉の増進に寄与します。

経営方針

- 1 お客様の安全・安心を何よりも大切にし、
安全意識の向上と安全管理・危機管理体制の強化に努めます。
- 2 お客様に喜んでいただけるよう、良質で快適なサービスを、
お客様の視点に立って、心をこめて提供します。
- 3 不断の創意工夫とチャレンジにより、事業改善を図るとともに
業務の効率化に努め、経営基盤を強化します。
- 4 環境への配慮、地域への貢献、コンプライアンスの徹底など、
常に社会的責任を自覚し、誠実に行動します。
- 5 すべての職員が健康で気持ちよく働き、能力を十分に発揮
できる、明るく風通しのよい職場づくりを進めます。

目次

沿革	1
事業と会計区分	2
公益目的支出計画の実施事業	3
受託事業	4
収益事業	9
経営状況	14
組織	15
協力会のあゆみ	16

沿革

当会は、第二次世界大戦下の昭和18年、東京市電気局（東京都交通局の前身）が市電・市バスの運行という本来の業務に専念できるよう付帯的業務を請け負うことで首都交通事業に協力するため、電気局長で後に初代東京都知事などを歴任した安井誠一郎氏が私財を出捐して設立されました。

設立当初は、都電・都バスの乗車券の発売が中心でしたが、昭和23年にタバコの販売を、昭和25年に宝くじの販売を開始しました。また、昭和28年に東京都知事から国内旅行業法による登録を取得し、旅行斡旋業として観光事業を始めました。

昭和35年12月には都営浅草線の開業により、駅売店、車両清掃等の地下鉄関係の業務を受託し、その後の三田線、新宿線の開業に伴う業務量の増に加え、昭和50年代以降は交通局の業務の外注化に伴い、バス誘導、駅舎清掃、地下鉄定期券発売等の業務も順次受託しました。

また、地下鉄高架下などの土地の有効活用を図るとの交通局の方針に沿って、昭和45年8月には高架下施設の貸付事業も開始しました。さらに、平成8年3月には旧プラム株式会社の事業であった船堀及び新高島平駅のコンビニエンスストア

や、高島平インドアテニスコート等についても協会の事業として運営を開始しました。

その後、平成12年12月の大江戸線の全線開業により、清掃等の業務量が大幅に増加しましたが、一方で観光事業の低迷により平成15年3月に旅行業を廃止しました。

平成15年4月には都営地下鉄の駅業務の受託を4駅で開始し、平成16年4月に広告媒体管理業務を、平成20年3月に新交通システム日暮里・舎人ライナーの開業に伴い駅舎及び車両清掃業務等を受託しました。

また、交通局の方針により、平成20年度に当会から東京交通サービス株式会社に庁舎設備管理業務、荒川線トラバーサー業務、駅舎照明設備点検清掃業務が、平成21年に同社から当会に食堂業務が移管されました。

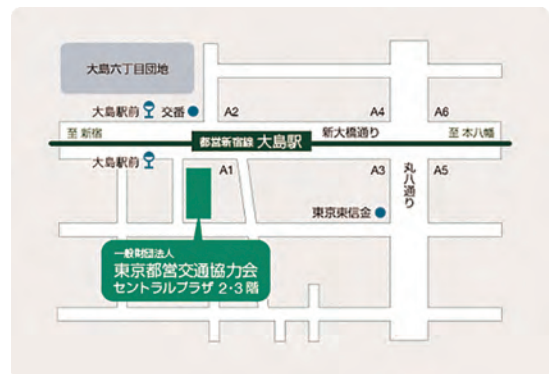
そして、平成20年12月の公益法人制度改革関連三法の施行を受けて、公益目的支出計画の策定などの必要な準備を進め、平成25年3月に東京都知事の認可を得て、同年4月1日から「一般財団法人東京都営交通協力会」として新たなスタートを切りました。

また、平成31年4月には東京都の事業協力団体に指定されました。

団体概要

名称	一般財団法人東京都営交通協力会
設立目的	首都交通機関の混雑緩和と輸送の増強確保への寄与、乗客・観光客の利便向上、都営交通事業の使命達成への協力
設立年月日	1943（昭和18）年5月29日
本部	〒136-0072 東京都江東区大島五丁目10番10号 電話：03-5609-2400
新宿事務所	〒162-0065 東京都新宿区住吉町7番13号
役員数	理事6名、監事2名、評議員9名
職員数	1,585名

●大島本部



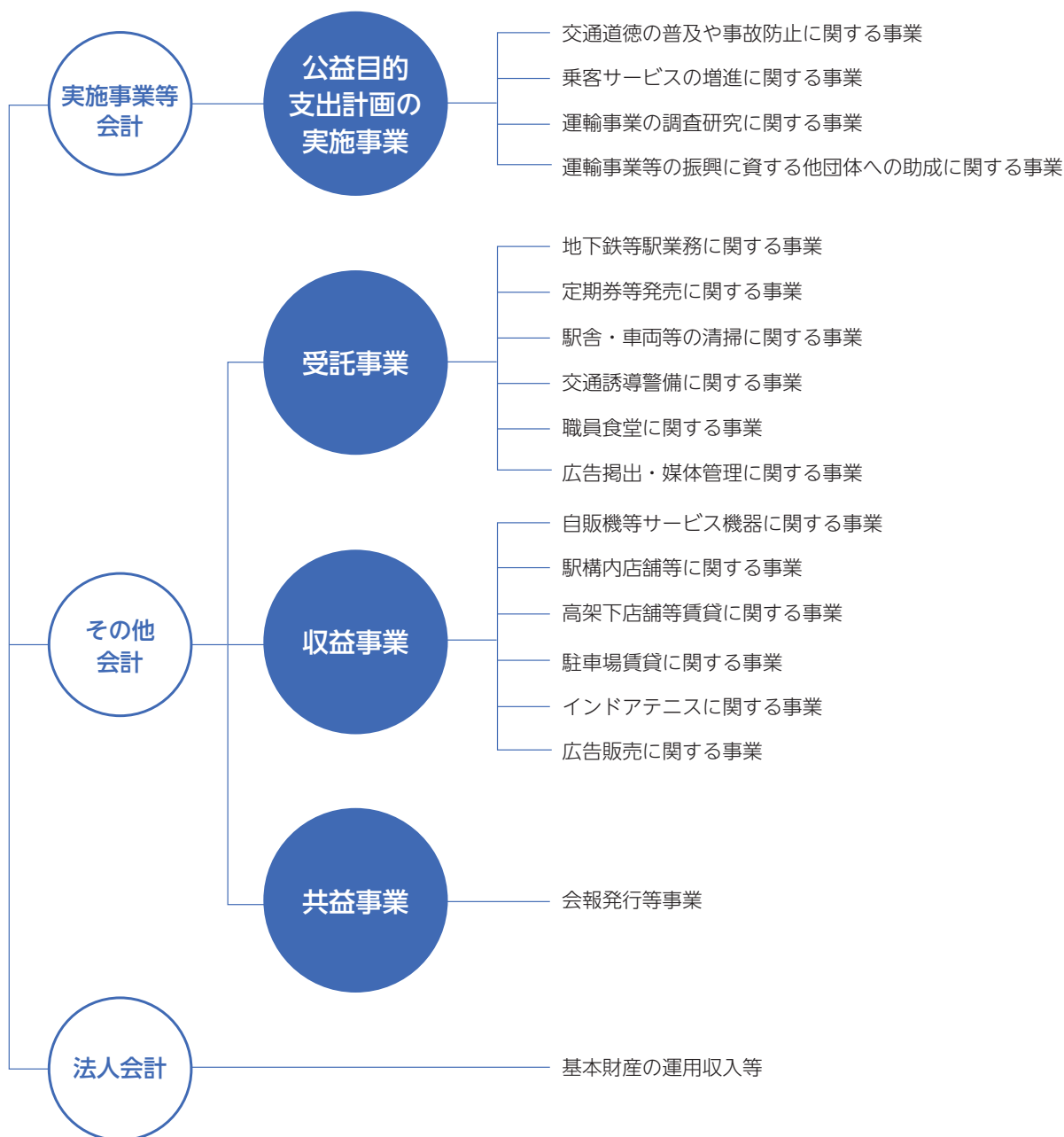
事業と会計区分

当会は、社会公共のために行う「公益事業」、交通局の業務の一部を受託し都営交通事業を支える「受託事業」、当会の経営基盤を強化し公益事業を安定的かつ効果的に運営するための「収益事業」を実施してきました。

平成25年4月の一般財団法人への移行に伴い、これまでの公益事業のうち、福利厚生に関する事業を「共益事業」、それ以外の事業を「公益目的支

出計画の実施事業」として継続し、実施していくこととしました。

また、当会では平成24年度決算から平成20年公益法人会計基準を採用し、「実施事業等会計」で公益目的支出計画の実施事業を、「その他会計」で受託事業、収益事業、共益事業を、「法人会計」で基本財産の運用収入等を経理しています。



公益目的支出計画の実施事業

交通道德の普及や事故防止に関する事業

交通マナーの普及啓発や交通安全意識の向上などを目的として、マナーポスターの作成、小学生向けマナー読本の作成・配布、マタニティマー

クの作成、都営交通沿線地域の高齢者や児童を対象とする都営バス営業所での交通安全教室の支援などを行っています。



マナーポスター



交通安全教室

乗客サービスの増進に関する事業

お客様サービスの向上や沿線地域への貢献・活性化などを目的として、都営地下鉄バリアフリーガイドの作成、都営バスや東京さくらトラム（都電荒川線）の沿線ガイドブックの作成、都電サポーターズへの支援、中学生の交通局職場体験への支援業務などを行っています。



中学生の職場体験

運輸事業の調査研究に関する事業

交通局と連携して運輸事業に関する調査研究を行っています。

運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業

公益財団法人交通遺児等育成基金、社会福祉法人東京都社会福祉協議会（東京善意銀行）、日本赤十字社への助成（寄付）を行っています。

受託事業

地下鉄等駅業務に関する事業

交通局から都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅業務を受託しています。

業務内容は、窓口業務、お客様案内、ホーム監視、遺失物の取り扱い、収入金管理などです。

平成15年4月に地下鉄の受託を開始して以来、駅数を拡大し、平成25年4月には日暮里・舎人ライナーの西日暮里駅の受託を開始しました。現在は地下鉄59駅、日暮里・舎人ライナー 1駅を受託しています。

異常時対応訓練、サービス介助士の資格取得など、安全・安心の確保とお客様サービスの向上に取り組んでいます。



窓口業務



ホーム監視



お客様案内

●受託駅

路線名	受託駅数	受託駅名
都営浅草線	12 / 20	馬込、中延、戸越、高輪台、三田、大門、東銀座、宝町、人形町、東日本橋、蔵前、本所吾妻橋
都営三田線	13 / 27	内幸町、水道橋、春日、白山、千石、西巢鴨、板橋区役所前、板橋本町、志村坂上、志村三丁目、蓮根、西台、新高島平
都営新宿線	11 / 21	新宿三丁目、曙橋、小川町、浜町、森下、菊川、西大島、東大島、船堀、一之江、篠崎
都営大江戸線	23 / 38	東新宿、若松河田、牛込柳町、牛込神楽坂、飯田橋、本郷三丁目、蔵前、両国、森下、月島、勝どき、築地市場、赤羽橋、麻布十番、代々木、西新宿五丁目、中野坂上、東中野、中井、落合南長崎、新江古田、豊島園、練馬春日町
(地下鉄 計)	59 / 106	
日暮里・舎人ライナー	1 / 13	西日暮里
(新交通 計)	1 / 13	

定期券等発売に関する事業

交通局から都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの定期券発売所業務を受託しています。

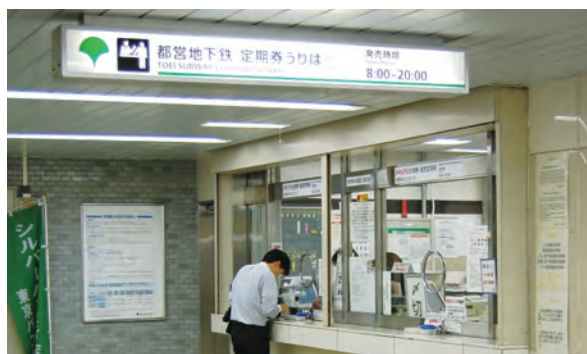
業務内容は、定期券や一日乗車券の発売、東京都シルバーパスの発行、都営交通オリジナルグッズの販売などです。

昭和18年6月に東京市電気局から市電・市バスの乗車券の車外発売の受託を開始、昭和58年2月に都営地下鉄、平成20年3月に日暮里・舎人ライ

ナーの定期券の発売を開始し、平成31年4月から「三ノ輪橋おもいで館」の業務を受託しています。

また、令和6年1月からWEB予約業務を受託し、現在は都営地下鉄12か所、都営バス12か所、三ノ輪橋おもいで館1か所、日暮里・舎人ライナー 1か所、WEB予約センター 1か所を受託しています。

接遇や語学の研修を行い、お客様サービスの向上に取り組んでいます。



都営地下鉄定期券発売所



都営バス定期券発売所



三ノ輪橋おもいで館

●定期券発売所

区分	箇所数	窓口
都営地下鉄	12	五反田、浅草橋、三田、巣鴨、高島平、大島、一之江、本八幡、上野御徒町、門前仲町、新宿、練馬
都営バス	12	東京駅丸の内南口、品川駅港南口、渋谷駅前、新宿駅西口、大塚駅前、王子駅前、西新井駅前、錦糸町駅前、亀戸駅前、船堀駅前、葛西駅前、西葛西駅前
日暮里・舎人ライナー	1	日暮里
東京さくらトラム(都電荒川線)	1	三ノ輪橋おもいで館
(計)	26	
Web 予約センター	1	
(計)	27	

駅舎・車両等の清掃に関する事業

● 駅舎清掃

交通局から都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅舎清掃を受託しています。

業務内容は、ホーム、コンコース、階段、トイレ、ホームドア、機器室などの清掃、ゴミの収集・分別で、特別清掃として終電後の深夜時間帯に駅

構内の壁面や天井清掃も行っています。

昭和53年12月の都営新宿線の開業を機に受託を開始、現在は都営地下鉄101駅（全106駅のうち交通局が管理している全駅）と日暮里・舎人ライナー全13駅を受託しています。

区分	駅数
都営地下鉄	101 駅
日暮里・舎人ライナー	13 駅



駅舎清掃

● 車両清掃

交通局から都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの車両清掃を受託しています。

昭和31年10月に都営バス、昭和32年4月に都電、昭和35年12月に都営地下鉄、平成20年3月に日暮里・舎人ライナーの受託を開始しました。

また、お客様に快適にご利用いただくため清掃品質向上研修による清掃作業のスキルアップや、KYT（危険予知訓練）による作業中の事故防止等に取り組んでいます。

区分	車両数及び箇所数
都営地下鉄	1,216 両
都営バス	1,222 両
東京さくらトラム (都電荒川線)	33 両
日暮里・舎人ライナー	100 両
庁舎清掃	2 か所



地下鉄車両清掃

交通誘導警備に関する事業

交通局から都営バスの交通誘導警備業務を受託しています。

業務内容は、バスの誘導、歩行者の安全確認、お客様案内、交通局職員が行うバス運行管理業務の補助などです。

昭和56年12月に8か所で受託を開始、現在バスターミナル等19か所で業務を行っています。

警備業法に基づく有資格者の確保・育成、バス車両を使用した実地研修、サービス推進リーダーの配置など、安全・安心の確保とお客様サービス向上に取り組んでいます。



バス誘導

●受託箇所

19か所（大井競馬場、渋谷駅東口、高田馬場駅前、江古田二丁目、池袋駅東口、池袋駅降車口、大塚駅前、東大構内、王子駅前、荒川土手操車所、西新井駅前、日暮里駅前、浅草寿町操車所、錦糸町駅南口、東陽操車所、葛西駅前、豊洲市場、豊海水産埠頭、竹ノ塚駅前）



職員食堂に関する事業

交通局等から都営地下鉄の車両基地や都営バス営業所などの食堂運営を受託しています。

業務内容は、食事の提供のほか、賄い人の募集、売上金の回収、食中毒防止や防火管理の徹底などにも取り組んでいます。

この事業は、平成21年4月に東京交通サービス(株)から当会に移管されました。

現在、交通局の食堂を21所、(株)はとバスが管理している都営バス営業所の食堂を2所受託しています。

●受託箇所

23所（交通局：21所、はとバス：2所）



職員食堂

広告掲出・媒体管理に関する事業

● 広告掲出業務

交通局から広告掲出業務を受託しています。

業務内容は、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの各種車内広告や車体広告、都営地下鉄、日暮里・舎人ライナー全駅の駅貼り広告等の仕分



広告の仕分け作業

け・掲出・撤去作業などです。

このほかにも研修の実施や掲出後に行う巡回点検（ダブルチェック）により、作業中の事故や掲出不備の防止にも取り組んでいます。



まど上ポスター掲出作業

● 広告媒体管理業務

交通局から都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの広告媒体の管理業務を受託しています。

業務内容は、交通局の広告媒体への出稿申込受付、広告の掲出・撤去に関する指示、広告料金の集計、その他広告に関する補助業務などです。

媒体管理は、交通局と広告代理店とをつなぐ重要な業務であり、広告掲出業務と常に連携を図りながら、広告代理店等に対し、迅速・正確・丁寧に対応しています。



媒体管理業務

収益事業

自販機等サービス機器に関する事業

● 飲料自販機

都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅構内、都営バス営業所の敷地内などに飲料等の自動販売機を設置しています。

令和5年7月には上野御徒町駅構内に飲料に加え、オムツ、液体ミルクなどを販売する「育児用品自動販売機」を設置するなど、お客様のニーズに合わせた自販機の導入を進めています。

● 設置数

921台



育児用品
自動販売機

● オートメルシー

廃止した駅売店（メルシー）の筐体を利用して飲料自販機等を複数台設置しています。

設置の自販機は、飲料の他に、アイス、菓子、新聞などを扱っており、大手のコンビニエンスチェーンと連携したものもあります。

● 店舗数

25か所



オートメルシー

● コインロッカー、ATMなど

都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅構内に、コインロッカー、宅配受取ロッカー、ATM、自動証明写真機などを設置しています。

最近では宅配受取ロッカー、モバイルバッテリーレンタルスタンドの増設やベビーカーレンタルサービス、ワークブースなど新たなサービス機器の設置に取り組んでいます。

区分	箇所数等
コインロッカー	134 か所
宅配受取ロッカー	21 か所
ATM	116 台
自動証明写真機	82 台
その他サービス機器	39 台



コインロッカー（左）、ワークブース（中央）、モバイルバッテリーレンタルスタンド（右）

駅構内店舗等に関する事業

● 専門店舗

都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅構内にコンビニエンスストア、飲食店、物販店、くつ修理店などを専門業者に委託して出店しています。

地元自治体や交通局と連携し、障がい者の就労支援などを目的としたパン店なども設置しています。

区分	店舗数
コンビニエンスストア	7 店舗
飲食店	9 店舗
物販店	8 店舗
くつ修理店	3 店舗
その他の専門店	4 店舗



コンビニエンスストア



とえいろ

令和6年5月に都営交通初となる沿線セレクトショップ「とえいろ」が都営新宿線市ヶ谷駅構内にオープンしました。

沿線企業と都営交通がコラボレーションした商品などを販売しています。



● 催事

都営地下鉄の駅構内において、週替わり・月替わりの期間限定で菓子や雑貨などを販売する催事事業を行っています。

区分	箇所数
ウィークリー催事	10 か所
マンスリー催事	2 か所

平成28年12月には五反田駅構内に、令和4年5月には本八幡駅構内に月替わりの催事ショップをオープンしました。



ウィークリー催事 (新宿三丁目駅)



マンスリー催事 (本八幡駅)

高架下店舗等賃貸に関する事業

● 高架下店舗等

都営浅草線、三田線及び新宿線の高架下の土地を活用し、飲食・物販等の店舗や倉庫、事務所等として貸し付けています。このほか、三田線白山駅に貸しビルを所有しています。

平成25年からは、交通局が行う高架橋の耐震補強工事に協力し、工事に支障する建物・施設物の撤去、それに伴うテナントの移転等を行いました。工事完了後、建物の再築及びテナントの誘致等に取り組んでいます。



メトロ東大島



メトロ志村三丁目Ⅱ



高架下施設

路線名	区 間	契約件数	主な利用形態
都営浅草線	西馬込	9	倉庫など
都営三田線	志村三丁目～西高島平	177	店舗、事務所、倉庫など
都営新宿線	東大島～船堀	36	店舗、事務所など
	(計)	222	

● 駅ビル

都営新宿線の本八幡駅開業に合わせて交通局が建設した「本八幡地下鉄会館」の管理を受託し、テナントの貸付業務を行っています。

また、都営大江戸線の西新宿五丁目駅の駅ビルの貸付を受託しています。

名 称	規 模	契約件数	主な利用形態
本八幡地下鉄会館	638㎡	1	ATM (建物改修工事中)
西新宿五丁目駅ビル	539㎡	1	飲食店

駐車場賃貸に関する事業

都営浅草線、三田線及び新宿線の高架下の土地を活用し、駐車場の貸付を行っています。

このほか、交通局の地下鉄建設に伴う代替地や施設跡地など高架下以外の事業用地を駐車場として貸し付けています。



月極駐車場

◆駐車場

区分		箇所数	収容台数
高架下	時間貸し	1	20
	月極め	9	313
一般	時間貸し	9	130
	月極め	34	565
(計)		53	1,028

インドアテニスに関する事業

板橋区新河岸の交通局用地を活用してインドアテニスコートを運営しています。

昭和55年に屋外テニスコートとして営業を開始、昭和62年に国内最大級の屋内コート5面を有するテニスクラブとして新たに開業、平成30年にコートの全面張替、クラブハウス内の改修、外壁塗装など大規模改修工事を実施しました。

貸しコート及びテニススクールの営業等は専門業者に委託しています。



高島平インドアテニスコート

広告販売に関する事業

交通局の指定広告代理店として、都営交通の広告販売を行っています。

従来の車内の中吊りポスター、駅の電飾ボード、パンフレットラック、都営バスや東京さくらトラム（都電荒川線）のラッピング広告などのほか、最近では地下鉄車内の「チカッ都ビジョン」や駅構内のデジタルサイネージラックが人気となっています。

また、ノベルティグッズ等の製作請負など企画提案型の業務にも力を入れています。



チカッ都ビジョン



ステーションビジョン



デジタルサイネージラック

経営状況

● 令和5年度決算概要 ※2023 (令和5) 年4月1日～2024 (令和6) 年3月31日

● 一般正味財産の部

(単位：千円)

実施事業等会計	収入	0	公益目的支出計画の実施事業
	支出	240,064	
	差引	△ 240,064	
その他会計	収入	10,627,973	受託事業、収益事業、共益事業の合計
	支出	9,980,299	
	差引	647,674	
受託事業	収入	7,484,075	
	支出	7,284,844	
	差引	199,231	
収益事業	収入	3,143,656	
	支出	2,691,818	
	差引	451,838	
共益事業	収入	242	会報発行等事業
	支出	3,637	
	差引	△ 3,395	
法人会計	収入	90,330	基本財産等運用収入等 運用収入に係る所得税等
	支出	18,122	
	差引	72,208	
当期経常増減額		479,818	実施事業等会計、その他会計、法人会計の合計
経常外収益		15,662	雑収入等
経常外費用		35,995	固定資産除却損等
当期経常外増減額		△ 20,333	
税引前当期一般正味財産増減額		459,485	当期経常増減額と当期経常外増減額の合計
法人税・住民税・事業税		236,312	
法人税等調整額		△ 45,560	
当期一般正味財産増減額		268,733	
一般正味財産期末残高		12,621,643	前年度末の残高と当期増減額の合計

● 指定正味財産の部

受取補助金等		0	耐震補強工事に伴う再建築施設に係る補償金
一般正味財産への振替額		△ 45,369	減価償却相当額振替
当期指定正味財産増減額		△ 45,369	
指定正味財産期末残高		1,402,383	前年度末の残高と当期増減額の合計

● 合計

正味財産期末残高	14,024,026
----------	------------

● 貸借対照表 ※2024 (令和6) 年3月31日現在

● 資産の部

(単位：千円)

流動資産	5,317,503
固定資産	12,351,018
基本財産	3,009,417
その他	9,341,601
有形固定資産	3,817,715
無形固定資産	54,081
投資	4,974,663
繰延税金資産	495,142
資産合計	17,668,521

● 負債の部

(単位：千円)

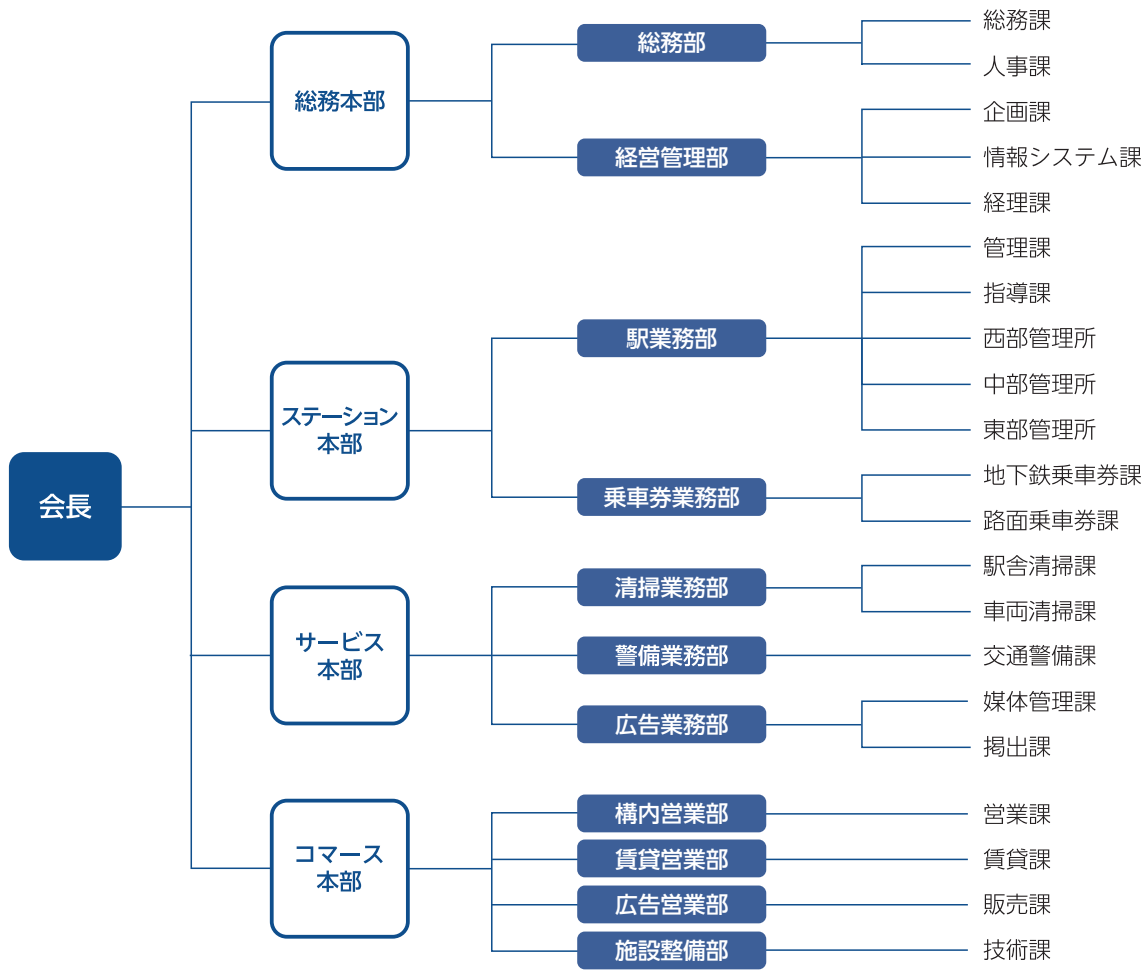
流動負債	2,064,760
固定負債	1,579,735
(負債合計)	3,644,495

● 正味財産の部

一般正味財産	12,621,643
指定正味財産	1,402,383
(正味財産合計)	14,024,026
負債及び正味財産合計	17,668,521

組織

●組織図



●役員 ※ 2024 (令和 6 年) 4 月 1 日現在

市川 雅明	代表理事 (会長)
川嶋 智尚	専務理事
山崎 孝広	常務理事
蒲 俊郎	(非常勤) 理事 [弁護士]
清水 繁	(非常勤) 理事 [東京商工会議所地域振興部長]
村岡 教昭	(非常勤) 理事 [公益財団法人東京都人権啓発センター前専務理事]
宮崎 昌治	監事
山田 洋一	(非常勤) 監事 [公認会計士]

●職員数 ※ 2024 (令和 6) 年 4 月 1 日現在

(単位:人)

部署名	常勤職員	パート・非常勤等	計
総務本部	27	0	27
ステーション本部	773	14	787
サービス本部	76	651	727
コマース本部	38	6	44
(計)	914	671	1585

協力会のあゆみ

和歴	年月日	出来事
昭 18	1943年 5月 5日	財団法人東京市電気局協会設立起案、市長決議
昭 18	1943年 5月 29日	内務・鉄道両大臣より設立許可を取得、寄付行為設立
昭 18	1943年 6月 11日	市電・市バスの広告取扱業務を受託（昭和 21 年 6 月 30 日：終了（東京都交通局広告事業組合へ移管））
昭 18	1943年 6月 16日	市電・市バス乗車券の車外発売を受託（昭和 21 年 10 月 31 日：終了）
昭 18	1943年 6月 16日	本部事務所を開設（東京市麹町区有楽町 2-13（東京市電気局内））
昭 18	1943年 7月 1日	事業開始。都制施行を受けて「財団法人東京都交通局協会」と改称
昭 18	1943年 9月 22日	本部事務所を移転（東京都京橋区銀座西 4-3（交通局分庁舎内））
昭 18	1943年 10月 21日	警視総監から古物商の営業許可を取得
昭 18	1943年 12月 1日	車内広告取扱業務を開始
昭 19	1944年 8月 10日	都電車両の疎開業務を受託
昭 21	1946年 3月 27日	協会会員制を施行
昭 23	1948年 3月 13日	東京地方専売局より煙草小売人の指定を受ける
昭 24	1949年 11月 7日	本部事務所を移転（東京都千代田区有楽町 2-13（交通局内））
昭 25	1950年 11月 15日	日本勧業銀行（現・みずほ銀行）と宝くじの売捌契約を締結（令和 2 年 12 月 25 日：終了）
昭 25	1950年 12月 13日	営団地下鉄（現・東京メトロ）回数券の発売を受託（昭和 36 年 10 月 31 日：終了）
昭 26	1951年 12月 21日	都バス通学定期券の発売を受託
昭 28	1953年 12月 2日	都知事より旅行斡旋業の登録を取得（平成 15 年 3 月 31 日：旅行業終了）
昭 31	1956年 10月 1日	都バスの車体清掃を受託
昭 32	1957年 4月 1日	都電の車両清掃を受託
昭 33	1958年 7月 5日	錦糸町駅前に江東会館（デパート）を開業（昭和 56 年 1 月 16 日：廃館）
昭 35	1960年 10月 10日	東京都交通局広告協同組合に加入（広告取扱を再開）
昭 35	1960年 12月 1日	都営 1 号線（現・浅草線）「押上」～「浅草橋」開業に伴い車両清掃を受託
昭 35	1960年 12月 4日	駅売店を開設
昭 36	1961年 4月 1日	駅の額面広告枠の保守業務を受託（平成 20 年 6 月 30 日：終了（TKS:東京交通サービス株式会社へ移管））
昭 37	1962年 12月 20日	バス営業所の夜警業務を受託（昭和 57 年 9 月 30 日：終了）
昭 38	1963年 1月 22日	交通局文書メール便業務を受託（昭和 63 年 3 月 31 日：終了）
昭 38	1963年 3月 19日	本部事務所を移転（東京都千代田区丸の内 3-5（交通局内））
昭 38	1963年 4月 11日	バス車内・車外広告架替作業を受託
昭 39	1964年 12月 1日	交通局庁舎（旧・有楽町本庁舎）の清掃を受託
昭 40	1965年 1月 16日	都バス通勤定期券の発売業務を受託
昭 40	1965年 7月 8日	本部事務所を移転（東京都千代田区有楽町 2-13（交通会館））
昭 43	1968年 6月 16日	大門庁舎のボイラー運転及び保守業務を受託
昭 43	1968年 10月 1日	新橋駅・浅草橋駅にコインロッカーを設置
昭 43	1968年 12月 27日	都営 6 号線（現・三田線）「巢鴨」～「志村」（現・高島平）開業に伴い車両清掃を受託
昭 45	1970年 8月 31日	都営 6 号線「志村坂上」～「西台」で高架下賃貸事業を開始
昭 48	1973年 9月 10日	志村三丁目駅の高架下に商店街（現・メトロ線志村三丁目）を開設
昭 48	1973年 12月 27日	本部事務所を移転（東京都港区芝浦 3-1-35（交通局互助会館））
昭 53	1978年 5月 1日	遺失物搬入業務を受託（昭和 63 年 3 月 31 日：終了）

和歴	年月日	出来事
昭 53	1978年 9月 1日	バス営業所の用務業務を受託（平成 17年 3月 31日：終了）
昭 53	1978年 10月 1日	都営浅草線・三田線の駅手洗所清掃業務を受託
昭 53	1978年 12月 21日	都営新宿線「岩本町」～「東大島」開業に伴い駅舎・車両清掃を受託
昭 54	1979年 2月 1日	当会 100%出資により株式会社プラムを設立（コンビニ店、パン店、駐車場などを経営）
昭 54	1979年 9月 12日	西台駅の高架下に商店街（現・メトロド西台）を開設
昭 54	1979年 10月 1日	白山駅にミニ書店を出店
昭 55	1980年 6月 28日	高島平テニスクラブ開業（昭和 62年 7月 20日：インドアテニスとして新装開業）
昭 56	1981年 12月 1日	バス誘導業務を受託（8か所）
昭 58	1983年 2月 21日	地下鉄定期券発売所業務を受託（3か所）
昭 59	1984年 4月 1日	都電荒川線の軌道点検を受託（平成 18年 3月 31日：終了（TKSへ移管））
昭 61	1986年 5月 10日	船堀駅の高架下に「船堀メトロ商店街」を開設
昭 61	1986年 8月 25日	東大島駅に ATM を設置
昭 63	1988年 12月 19日	駅構内にタバコ自動販売機の設置を開始
平 1	1989年 1月 20日	駅構内に飲料の自動販売機の設置を開始
平 1	1989年 3月 1日	東大島駅の高架下に集合店舗「東大島メトロド 18」（現・メトロド東大島）を開設
平 3	1991年 7月 26日	蓮根駅に自動証明写真機を設置
平 3	1991年 12月 10日	都営 12 号線（現・大江戸線）「練馬」～「光が丘」開業に伴い、駅舎・車両・庁舎清掃を受託
平 4	1992年 4月 1日	駅売店の愛称を「メルシー」とし、ロゴマークを制定
平 8	1996年 4月 1日	株式会社プラムから事業を引継ぎ（コンビニ店、パン店、そば店、高島平インドアテニスコートなど）
平 9	1997年 10月 1日	本部事務所を移転（東京都江東区大島 5-10-10（セントラルプラザ大島））
平 12	2000年 10月 1日	東京都シルバーパス発行業務を受託
平 13	2001年 4月 1日	東京都交通局から指定広告代理店に指定される
平 15	2003年 4月 1日	地下鉄の駅業務を受託（6 駅）
平 15	2003年 4月 1日	都電荒川線トラバサー運転業務を受託（平成 20年 3月 31日：終了（TKSへ移管））
平 16	2004年 4月 1日	広告媒体管理業務を受託
平 17	2005年 4月 1日	地下鉄の駅案内業務（コンシェルジュ）を受託（平成 21年 3月 31日：終了）
平 18	2006年 6月 1日	警視庁から駐車監視員業務を受託（入札）（平成 19年 3月 31日：終了）
平 20	2008年 3月 30日	日暮里・舎人ライナーの開業に伴い駅舎・車両・庁舎清掃を受託
平 20	2008年 3月 31日	庁舎設備管理業務を TKS へ移管
平 20	2008年 6月 30日	駅舎照明設備点検業務を TKS へ移管
平 20	2008年 6月 30日	株式会社ゆりかもめから駅業務を受託（3 駅）（平成 23年 3月 31日：終了）
平 20	2008年 12月 1日	公益法人制度改革関連三法施行により特例民法法人となる
平 21	2009年 4月 1日	POS システム導入により駅売店での PASMO 利用開始
平 21	2009年 4月 1日	食堂業務を受託（TKS から移管）
平 22	2010年 3月 29日	理事会において一般財団法人への移行を決定（平成 25年 3月 25日：都知事より認可）
平 24	2012年 4月 1日	組織改正（5 室から 5 本部に名称変更、部・課・係を設置）
平 25	2013年 4月 1日	一般財団法人へ移行登記、名称を「一般財団法人東京都営交通協力会」へ変更
平 28	2016年 12月 15日	五反田駅にマンスリー催事「Toei Sweets Shop」を開設
平 31	2019年 4月 1日	東京都の事業協力団体に指定される
平 31	2019年 4月 1日	三ノ輪橋おもいで館の業務を受託
令 2	2020年 4月 1日	組織改正（5 本部から 4 本部に再編、係を廃止）
令 2	2020年 12月 25日	宝くじ事業を終了
令 5	2023年 12月 29日	売店事業を終了
令 6	2024年 1月 1日	WEB 予約センターの承認業務を受託



一般財団法人
東京都営交通協力会

事業のあらし2024

発行 2024 (令和6) 年11月1日
編集 一般財団法人 東京都営交通協力会



www.tkk.or.jp